

## ガーナでそろばんプロジェクト54号(2016年 7月 3日)

★★ もっと頑張ろう もっと強くなろう 子どもたちの明日のために ★★

七月に入り、日本から“今日は暑い”という声が聞こえるようになりましたが、ニコガーナはこの時期がとても涼しく過ごしやすい時期となってきました。とは言え、南北に長いガーナは、首都アクラがある南と北の温度差は異なります。北部は年間を通して暑いと聞きます。この時期の涼しさに加えて本格的な雨季に入った為、一雨降ると、涼しいを通り越して寒く感じる日さえあります。六月のそろばん教室は、2回のみとなりました。その2回とも雨となりました。うち1回は、アクラを出る時から、どんよりした空模様。アクラから東に延びるアフラオロードをトロトロで行く中、激しい雨となってしまうました。活動のある日は朝から土砂降りの雨になってほしい。そんな自分の叶って欲しくない弱気な想いが、村に行く途中で叶ってしまったのです。とても皮肉です。村に着いても激しい雨は止みませんでした。こんな雨では、誰もそろばん教室に来ることは出来ないだろう。もう少し、あと少し、待って誰も来なければアクラに帰ろう。傘をさしても濡れた身体が冷え寒くてそう思っていた時でした。ブロック塀からこちらをのぞく子どもがいました。一度、姿を消した直後、一人のはずだった子どもが4人となり教室に向かってきました。雨が降る中、傘もささずに濡れながらやってきたのです。子どもたちは、この雨では来ないだろうという思いが良い意味で期待が裏切られたのです。自分の弱気な想いが皮肉にも叶えられ、そして良い意味で子どもたちが期待を裏切ってくれる。子どもたちには、いつも教えられる。私が悩んでいる活動の有り方に答えを出してくれるかのように教えてもらえます。この日、次回のそろばん教室は九月になることを伝えました。2か月も教室を開室しないことになりました。これは、これまでは中学3年生だけが対象となっていたスクールホリデー中の特別授業が、特別授業の

対象が不明だったため、確実な教室開催日がお知らせ出来ず、新学期が始まるから、そろばん教室をすると案内しました。約2か月教室が無い事に、子どもたちは、とても落胆しました。こんなにも、そろばん教室を楽しみにしている子どもたちの為に私自身が、もっともつと頑張らなくてははいけません。

報告 TOSHIKO

